

様式第 1 号（第 4 条関係）

令和 6 年 5 月 1 7 日

さぬき市長 殿

所在地 さぬき市志度 5385 番地 8
団体等名称 有限会社●●工業
代表者氏名 代表取締役 香川 一郎
（個人にあつては、住所及び氏名）

補助金等交付申請書

令和 6 年度において次のとおり補助事業等を実施したいので、補助金等を交付されるようさぬき市補助金等交付規則第 4 条の規定により、関係書類を添えて申請します。

補助申請額	金 150,000 円
事業の名称	ワーク・ライフ・バランス（社員）研修
事業の目的	社員が育児休暇を取得できる働きやすい職場環境を作る
事業の内容	① ワーク・ライフ・バランス社員研修の開催 ② ワーク・ライフ・バランスを実践できる組織づくり
着手・完了 予定年月日	着手予定年月日 令和 6 年 7 月 1 日 完了予定年月日 令和 7 年 1 月 3 1 日
事業の効果	ワーク・ライフ・バランスについて社員全員が正しい知識を持つことで、育児休暇取得希望者も他の社員も安心して仕事や家庭のことに取り組めるようになる。
添付書類 (3)～(5)は、申請者が法人又は団体の場合	(1) 事業計画書 (2) 収支予算書 (3) 定款、規約、会則その他これらに類する書類の写し (4) 役員名簿（役員を置かない場合は、構成員名簿） (5) 直近の事業報告書及び収支決算書又はこれらに代わる書類 (6) その他（ ）
備考	

※ 上記枠内に収まる範囲で、簡潔に記入してください。

(別紙1)

事業計画書

事業名称	ワーク・ライフ・バランス（社員）研修
------	--------------------

■ 事業内容

選考においてアピールしたい事業のポイントをお書きください。

〈事業の背景〉

弊社は、鉄材加工業を営む社員25名の中小企業だが、男性若手社員から「妻の第1子の出産に合わせて、1か月間の育児休暇を取得したい」との申し出があった。弊社では男性社員も育児休暇が取得可能であるが、これまでに取得者はなく、周囲の社員たちは「休暇を取得した社員分の業務が増えてしまうのではないかと不安に感じている者もいる。そこで、社員が仕事と子育てを両立できる、社員全員が働きやすい環境を作ることをめざし、ワーク・ライフ・バランス社員研修を実施したい。

〈具体的な内容〉

① ワーク・ライフ・バランス社員研修の開催

日時：令和6年9月下旬（予定）

場所：有限会社●●工業 会議室

講師：ファイナンシャルプランナー ■■■■■ 氏

対象者：社員25名

② ワーク・ライフ・バランスを実践できる組織づくり

〈研修のポイント〉

講師には〈休暇取得社員〉〈周囲の社員〉双方の立場を分かり合える雰囲気づくりのために必要なポイントの伝授を依頼する。

(1) 休暇取得社員

担当する業務内容の「見える化」を促すことで、周囲の社員が休暇取得中に業務をフォローするための準備を整える。

(2) 周囲の社員

業務をフォローするための心構えを学ぶ。

※ 上記枠内に収まる範囲で、簡潔に記入してください。

(別紙2)

事業予定表

事業名称	ワーク・ライフ・バランス（社員）研修
------	--------------------

■ 令和6年度の事業予定

事業として予定しているスケジュールをお書きください

内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
講師との連絡調整 (研修日程などの協議)	↔						
研修準備 (講師との事前打合せ)	↔						
研修実施			■				
ワーク・ライフ・バランス を实践できる組織づくり				↔			

■ 令和7年度以降の事業予定

この事業で得た経験やノウハウの活用方法をお書きください

令和7年度は、業務内容の「見える化」のノウハウを生かして休暇（年次休暇等）を取得しやすい環境づくりに取り組む。
令和8年度は、社員全員が働きやすい職場づくりに向けて「一般事業主行動計画」策定をめざす。

※ 上記枠内に収まる範囲で、簡潔に記入してください。

(別紙)

収支予算書

事業の名称：ワーク・ライフ・バランス（社員）研修

1 収入の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
市からの補助金等	(150,000) 150,000	
市以外からの助成金	0	
事業所負担金	150,000	
計	(150,000) 300,000	

2 支出の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
報償費	(150,000) 200,000	講師謝礼 200,000円
旅費	() 50,000	講師交通費 50,000円
需用費	() 45,000	消耗品代 20,000円 印刷製本費 25,000円
役務費	() 5,000	郵送料 2,000円 保険料 3,000円
計	(150,000) 300,000	

※収入予算額の（ ）内には市からの補助金等のうち、今回申請する額を記入してください。

※支出予算額の（ ）内には支出区分ごとに補助申請額を記入してください。

様式第 1 号 (第 4 条関係)

令和 6 年 5 月 2 4 日

さぬき市長 殿

所在地 さぬき市志度 5385 番地 8
団体等名称
代表者氏名 讃岐 花子
(個人にあつては、住所及び氏名)

補助金等交付申請書

令和 6 年度において次のとおり補助事業等を実施したいので、補助金等を交付されるようさぬき市補助金等交付規則第 4 条の規定により、関係書類を添えて申請します。

補助申請額	金 150,000 円
事業の名称	外国人住民とのご近所付き合いを学ぶ先進地視察
事業の目的	日本人住民と外国人とが互いに安心してご近所付き合いをできるような交流の仕方を学ぶ
事業の内容	① 外国人住民と日本人住民の交流に取り組む先進地の視察 ② 視察結果を踏まえた交流実施計画の作成
着手・完了 予定年月日	着手予定年月日 令和 6 年 7 月 1 日 完了予定年月日 令和 7 年 1 月 3 1 日
事業の効果	実際に先進地を見て具体的なイメージやヒントを得ることで、より実効性のある取組を行えるようになる
添付書類 (3)~(5)は、申請者が法人又は団体の場合	(1) 事業計画書 (2) 収支予算書 (3) 定款、規約、会則その他これらに類する書類の写し (4) 役員名簿 (役員を置かない場合は、構成員名簿) (5) 直近の事業報告書及び収支決算書又はこれらに代わる書類 (6) その他 ()
備考	

※ 上記枠内に収まる範囲で、簡潔に記入してください。

(別紙1)

事業計画書

事業名称	外国人住民とのご近所付き合いを学ぶ先進地視察
------	------------------------

■ 事業内容

選考においてアピールしたい事業のポイントをお書きください。

〈事業の背景〉

ご近所に外国人技能実習生が暮らしはじめたが、どう接したらよいか分からない。付き合いを避けたままでは、互いの暮らしにくさや生活トラブルへ発展するのではないか、という不安がある。まずは気軽にコミュニケーションできるような関係を築くことが大切ではないだろうか。そこで、ご近所レベルでの外国人住民との交流に取り組む3か所を訪問し、交流の進め方を学んでみたい。

〈具体的な内容〉

① 外国人住民と日本人住民の交流に取り組む先進地の視察

日時 : 令和6年9月(予定)

場所 : (1) ●●府A市国際交流協会

(2) ■■県B町役場

(3) ▲▲県C市役所

訪問者 : 近隣住民3名

② 視察結果を踏まえた交流実施計画の作成

〈視察先の選定理由〉

(1) ●●府A市国際交流協会

日系外国人が多く暮らす地域で、10年以上にわたって活動を続けている。どうして活動を始めることになったのか、ぜひ聞いてみたい。

(2) ■■県B町役場

ご近所レベルでの活動が続いている。

どういったメンバーが活動を担っているのか、ぜひ聞いてみたい。

(3) ▲▲県C市役所

ご近所レベルでの活動実績があるが、最近は活動が下火になっている。せっかく開始した活動が下火になった原因を聞いてみたい。

※ 上記枠内に収まる範囲で、簡潔に記入してください。

(別紙2)

事業予定表

事業名称	外国人住民とのご近所付き合いを学ぶ先進地視察
------	------------------------

■ 令和6年度の事業予定

事業として予定しているスケジュールをお書きください

内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
視察先との連絡調整 (視察日程などの決定)	↔						
視察準備 (視察確認内容の検討)	↔						
先進地視察の実施			■				
交流実施計画の作成				↔			

■ 令和7年度以降の事業予定

この事業で得た経験やノウハウの活用方法をお書きください

先進地視察で学んだことを参考に、「ご近所レベルで始める交流活動」をスタートさせる。

※ 上記枠内に収まる範囲で、簡潔に記入してください。

(別紙)

収支予算書

事業の名称：外国人住民とのご近所付き合いを学ぶ先進地視察

1 収入の部 (単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
市からの補助金等	(150,000)	
	150,000	
市以外からの助成金	0	
個人負担金	45,000	15,000円×3名
計	(150,000)	
	195,000	

2 支出の部 (単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
旅費	(150,000)	先進地視察旅費
	180,000	20,000円×3名×3か所
需用費	()	消耗品代 15,000円
	15,000	
計	(150,000)	
	195,000	

※収入予算額の () 内には市からの補助金等のうち、今回申請する額を記入してください。

※支出予算額の () 内には支出区分ごとに補助申請額を記入してください。

様式第 1 号 (第 4 条関係)

令和 6 年 5 月 2 2 日

さぬき市長 殿

所在地 さぬき市志度 5385 番地 8
団体等名称
代表者氏名 讃岐 太郎
(個人にあつては、住所及び氏名)

補助金等交付申請書

令和 6 年度において次のとおり補助事業等を実施したいので、補助金等を交付されるようさぬき市補助金等交付規則第 4 条の規定により、関係書類を添えて申請します。

補助申請額	金 78,000 円
事業の名称	おやじの会結成
事業の目的	家庭と仕事の両立に悩む父親が気軽に交流したり情報を交換できる場所を作ることで、さぬき市に父親の笑顔を増やしていく
事業の内容	さぬき市内の様々な立場の父親が集い、継続的に相談し合い、楽しく交流できる場所づくり
着手・完了 予定年月日	着手予定年月日 令和 6 年 7 月 1 日 完了予定年月日 令和 7 年 1 月 3 1 日
事業の効果	<ul style="list-style-type: none">・父親の孤独感を解消できる・校区以外にも人脈を広げることができる・1人では思いつかないようなアイデアを知ることができる・話し、聴く場を作ることでそれぞれの悩みを解消しやすくなる
添付書類 (3)~(5)は、申請者が法人又は団体の場合	(1) 事業計画書 (2) 収支予算書 (3) 定款、規約、会則その他これらに類する書類の写し (4) 役員名簿 (役員を置かない場合は、構成員名簿) (5) 直近の事業報告書及び収支決算書又はこれらに代わる書類 (6) その他 ()
備考	

※ 上記枠内に収まる範囲で、簡潔に記入してください。

(別紙1)

事業計画書

事業名称	おやじの会結成
------	---------

■ 事業内容

選考においてアピールしたい事業のポイントをお書きください。

〈事業の背景〉

仕事が忙しく、家庭のことをしたくてもできない父親もいれば、得意不得意に関わらず育児・家事をしなければならないことにプレッシャーを感じている父親もいる。主夫をする父親もいる。実に様々な立場の人がいるが、皆相談できる場がなく孤独感を感じているという。何より私自身がそうである。おやじの会結成によって、まずは1人で悩みがちな父親達の居場所を作りたいと思った。

〈具体的な内容〉

- ① 県内のパパサークルの見学、創設者インタビュー 8月(予定)
訪問先(予定): ●●パパサークル(××市)
□□パパの会(▲▲市)
訪問予定者: 私、おやじの会立ち上げを希望する友人の計2名
- ② ①を踏まえ、会をどういったものにしたいか等、打合せを複数回行う
- ③ 『(子連れOK) パパランチ会』を開催(メンバー募集) 10月(予定)
- ④ その後SNS、チラシ、ポスター等でメンバー募集を継続
- ⑤ 会の立ち上げ、SNSでコミュニティグループを作る 12月(予定)
- ⑥ 顔合わせ会の開催、年間スケジュールを立てる 令和7年1月(予定)

※打合せ及びランチ会は自身の経営するレストランで開催する予定

〈会のポリシー〉

- ・どんな立場の参加者も心地よくいられる場所にする
(1人ひとりが、自分も相手も尊重できる雰囲気づくり)
- ・楽しいこと
- ・持続可能なものにする

※ 上記枠内に収まる範囲で、簡潔に記入してください。

(別紙2)

事業予定表

事業名称	おやじの会結成
------	---------

■ 令和6年度の事業予定

事業として予定しているスケジュールをお書きください

内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
見学先との連絡調整 (訪問日程などの決定)	↔						
見学、インタビューの実施		■					
打合せ、パパランチ会の日程調整、宣伝など			↔				
パパランチ会				■			
メンバー募集 (11月以降 常時)					↔		
会の立ち上げ、SNS コミュニティグループ作成						■	
顔合わせ会開催							■

■ 令和7年度以降の事業予定

この事業で得た経験やノウハウの活用方法をお書きください

立ち上げたおやじの会を楽しく持続可能なものにできるよう、スケジュール等適宜見直しながら交流、活動を続ける。

※ 上記枠内に収まる範囲で、簡潔に記入してください。

(別紙)

収支予算書

事業の名称：おやじの会結成

1 収入の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
市からの補助金等	(78,000) 78,000	
市以外からの助成金	0	
個人負担金	10,000	5,000円×2名
計	(78,000) 88,000	

2 支出の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
旅費	(8,000) 8,000	旅費 4,000円×2名
需用費	(55,000) 55,000	印刷代 25,000円 消耗品代 30,000円
役務費	(5,000) 5,000	郵送料
使用料及び賃借料	(10,000) 10,000	会場使用料 (顔合わせ会)
交際費	() 10,000	訪問先への手土産代
計	(78,000) 88,000	

※収入予算額の () 内には市からの補助金等のうち、今回申請する額を記入してください。

※支出予算額の () 内には支出区分ごとに補助申請額を記入してください。